

第 1 号議案

一宮西港道路の都市計画決定 に関する愛知県都市計画審議会環境影響 評価調査専門部会の設置について

参考資料 1

- ・・・愛知県都市計画審議会環境影響評価調査専門部会要綱

参考資料 2

- ・・・一宮西港道路の都市計画及び環境影響評価手続について

愛知県都市計画審議会

愛知県都市計画審議会環境影響評価調査専門部会要綱

(趣 旨)

第1条 この要綱は、近年環境問題が都市計画決定に当たっての重要な判断要素であることにかんがみ、環境影響評価に関する事項を調査審議させるための環境影響評価調査専門部会（以下「専門部会」という。）の設置及び運営に関する事項を定めるものとする。

(所掌事務)

第2条 専門部会は、愛知県都市計画審議会（以下「審議会」という。）が付託した都市計画に係る環境影響評価に関する事項を調査審議するものとする。

(設 置)

第3条 専門部会は、審議会の議決により設置する。

(組 織)

第4条 専門部会は、審議会長が指名する委員、臨時委員及び専門委員若干人をもって組織する。

(部会長)

第5条 専門部会に、部会長を置き、専門部会に属する委員のうちから、審議会長が指名する。

2 部会長に事故あるときは、あらかじめその指名する委員がその職務を代理する。

(会 議)

第6条 専門部会の会議は、部会長が招集する。

2 専門部会の会議においては、部会長が議長となる。

3 専門部会の調査審議が終了したときは、部会長が、その結果を審議会に報告するものとする。

(会議の開催)

第7条 専門部会の会議は、会場を設けて開催するものとする。

2 委員、臨時委員及び専門委員は、原則として会場に参集して会議に出席するものとする。ただし、やむを得ない事情により会議を招集する場所に参集することが困難な場合は、映像と音声の送受信により相手の状態を相互に認識しながら通話をすることができる方法によって、会議を招集する場所以外の場所から会議に参加（オンライン出席）することができる。

3 前条第1項の規定に関わらず、疫病・災害等により招集による開催が困難なとき、調査審議に直接影響しない事項について報告・説明するとき、その他部会長が認めたときは、書面によって開催できるものとする。ただし、事前確認により委員から招集による開催を求める意見があったときは、書面による開催は行わないものとする。

4 書面による開催は、回答期日を指定し書面で委員の意見を聞くものとする。

(会議の公開等)

第8条 専門部会の会議は、これを公開するものとする。ただし、次の各号に掲げる場合はこの限りでない。

- (1) 調査審議する内容に、愛知県情報公開条例（平成12年愛知県条例第19号）第7条に規定する不開示情報に該当する情報が含まれている場合

(2) 専門部会が非公開とする旨を議決した場合

(3) 書面による開催を行なった場合。ただし、書面による開催の内容は、公表することとする。

2 専門部会の傍聴方法等については愛知県都市計画審議会傍聴要領（平成13年4月27日施行）に規定するところに準じて行う。ただし、書面による開催を行なった場合はこの限りでない。

（解 散）

第9条 専門部会は、その調査審議に係る都市計画の案が、審議会で議決された後、解散するものとする。

（雑 則）

第10条 この要綱に定めるもののほか、専門部会の運営に関し必要な事項は、部会長が、専門部会に諮って定める。

附 則

この要綱は、昭和57年7月7日から施行する。

附 則

この要綱は、平成12年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成20年2月29日から施行する。

附 則

この要綱は、令和5年7月14日から施行する。

附 則

この要綱は、令和6年10月17日から施行する。

一宮西港道路の都市計画及び環境影響評価手続について

1. 一宮西港道路の概要

- ＜路線の名称＞ 一宮西港道路（愛知県内）
- ＜位 置＞ 愛知県一宮市～愛知県弥富市（別添 位置図）
- ＜規 模＞ 延長：約 28km 車線数：4車線以上

＜都市計画における位置づけ＞

一宮西港道路は、愛知県一宮市の名神高速道路・東海北陸自動車道一宮ジャンクションから愛知県弥富市の伊勢湾岸自動車道までを結ぶ高規格道路です。名古屋都市計画区域マスタープラン及び尾張都市計画区域マスタープランにおいて、災害に強い道路網の形成を図るとともに、多様な産業の連携と次世代を担う産業の創出、歴史・文化などの地域資源を活用した対流の促進を図る広域幹線道路として定めております。

＜事業の目的＞

一宮西港道路の整備は、東海北陸自動車道を南伸して伊勢湾岸自動車道と接続することで南北軸のミッシングリンクを解消し、東名高速道路、名神高速道路等と一体となり中部圏全体の発展と国土強靱化に資するとともに、名古屋港や中部国際空港へのアクセス向上や、広域避難や緊急輸送といった防災面でも重要な役割を果たすことを目的としています。

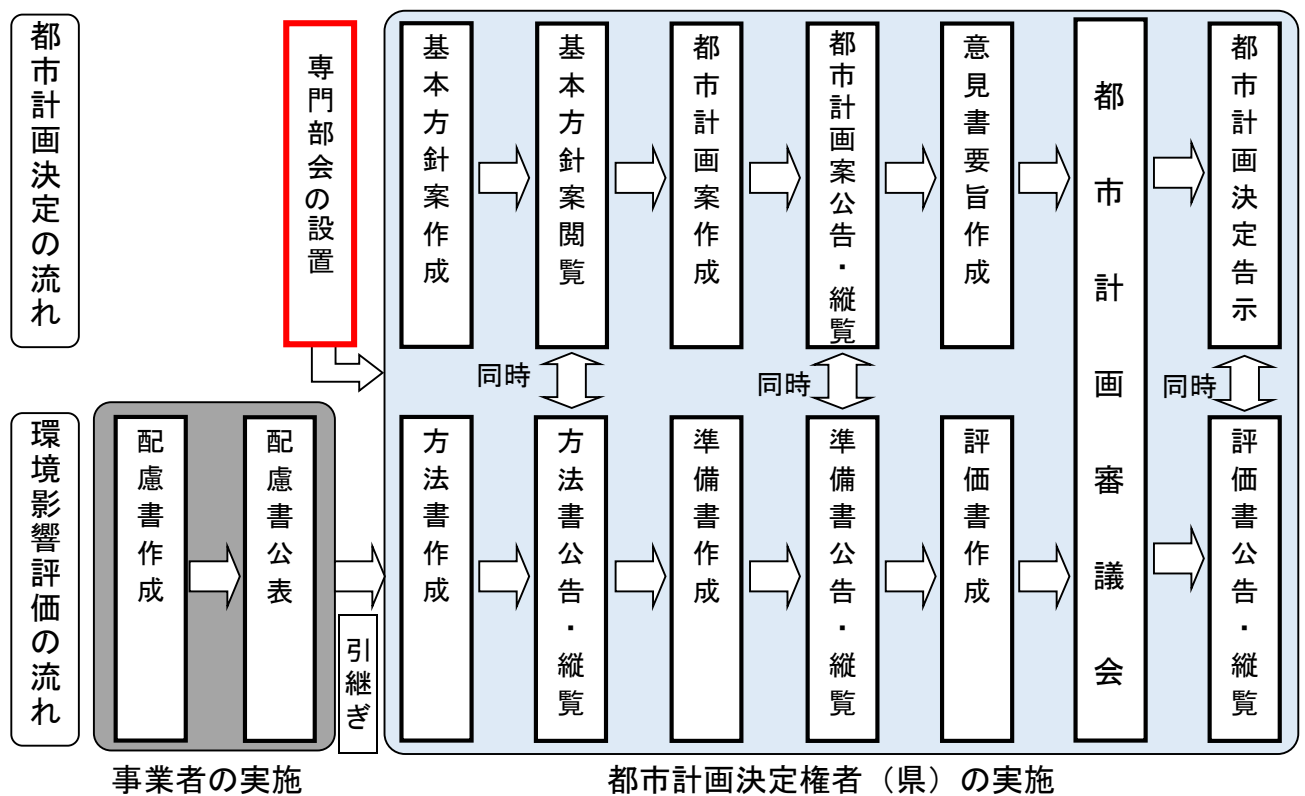
＜経緯＞

2022年度から国により、対応方針（概略ルート、構造）を決定するための計画段階評価手続が実施され、2025年3月に別添位置図のとおり「ルート帯案」及び「インターチェンジ配置案」が決定されました。あわせて、国により環境影響評価法に基づく計画段階環境配慮書手続も実施され、2025年8月に同配慮書を公表、10月27日の国土交通大臣意見をもって、同配慮書の手続を完了しました。

2. 都市計画決定と環境影響評価の流れ

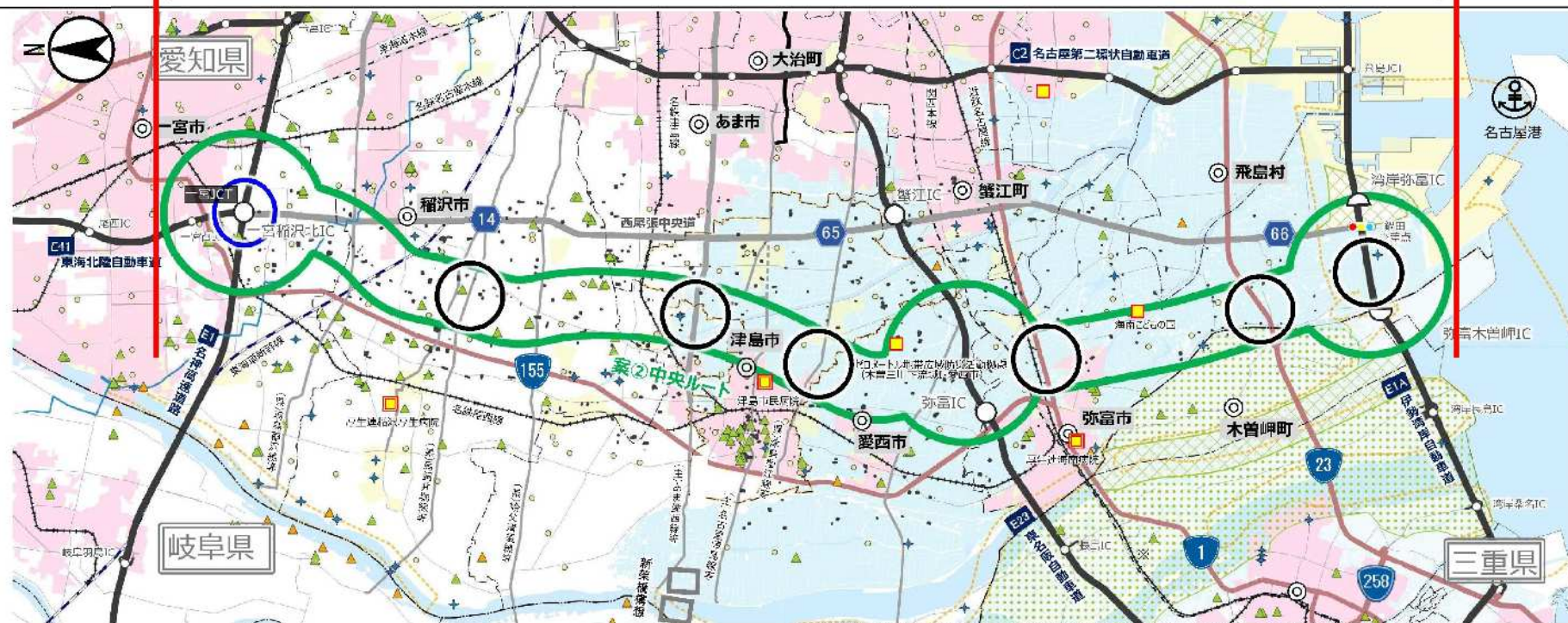
＜都市計画に定められる環境影響評価対象事業に関する特例＞

環境影響評価法(38 条の6第1項)において、環境影響評価の対象事業が都市計画に定められる事業である場合には、都市計画決定権者が環境影響評価手続を都市計画の手続に併せて実施することが定められています。



位置図

一宮西港道路:延長約28km



※只体的な道路構造の検討に際し、生活環境への影響（人気質、騒音等）、自然環境への影響（動植物等）、景観への影響（景観資源等）、工事中の地域への影響（現道交通・工事期間等）をできる限り少なくし、コスト削減等に配慮する。

< 凡 例 >

- ▲ 重要な植物種・群落の生育地
- ▲ 重要な動物種の生息地
- ★ 景観資源・眺望点
- 広域防災拠点
- 災害拠点病院
- 主要施設（学校）
- ◎ 市役所・町村役場
- 鳥獣保護区
- 自然公園
- 自然環境保全地域
- 人口集中地区（R2）
- 市街化区域
- 神社仏閣
- 津波浸水想定区域

< 凡 例 >

- 高速道路、都市高速
- 国道（4車線）
- 国道（2車線）
- 東海道新幹線
- JR在来線
- 私鉄・地下鉄
- 県境
- 市町村境

< 凡 例 >

- 案②中央ルート
- インターチェンジ検討位置
(インターチェンジ形式、IC・ランプ等)を明示する
- 既設インターチェンジ(機能強化)